

日本の戦略

未来に向けた経済社会
システムの再設計

第4次産業革命
に向けた経済社会
システムの高度化

データ利活用
促進に向けた
環境整備

人材育成・獲得、
雇用システムの
柔軟性向上

イノベーション・
技術開発の加速化
「Society5.0」

第4次産業革命の
中小企業、地域経済
への波及

産業構造・
就業構造転換
の円滑化

ファイナンス
機能の強化

官民で共有できる
ビジョンをつくる

長期的な将来像を
官民で共有

具体的な目標を
中期的な期限を定めて設定

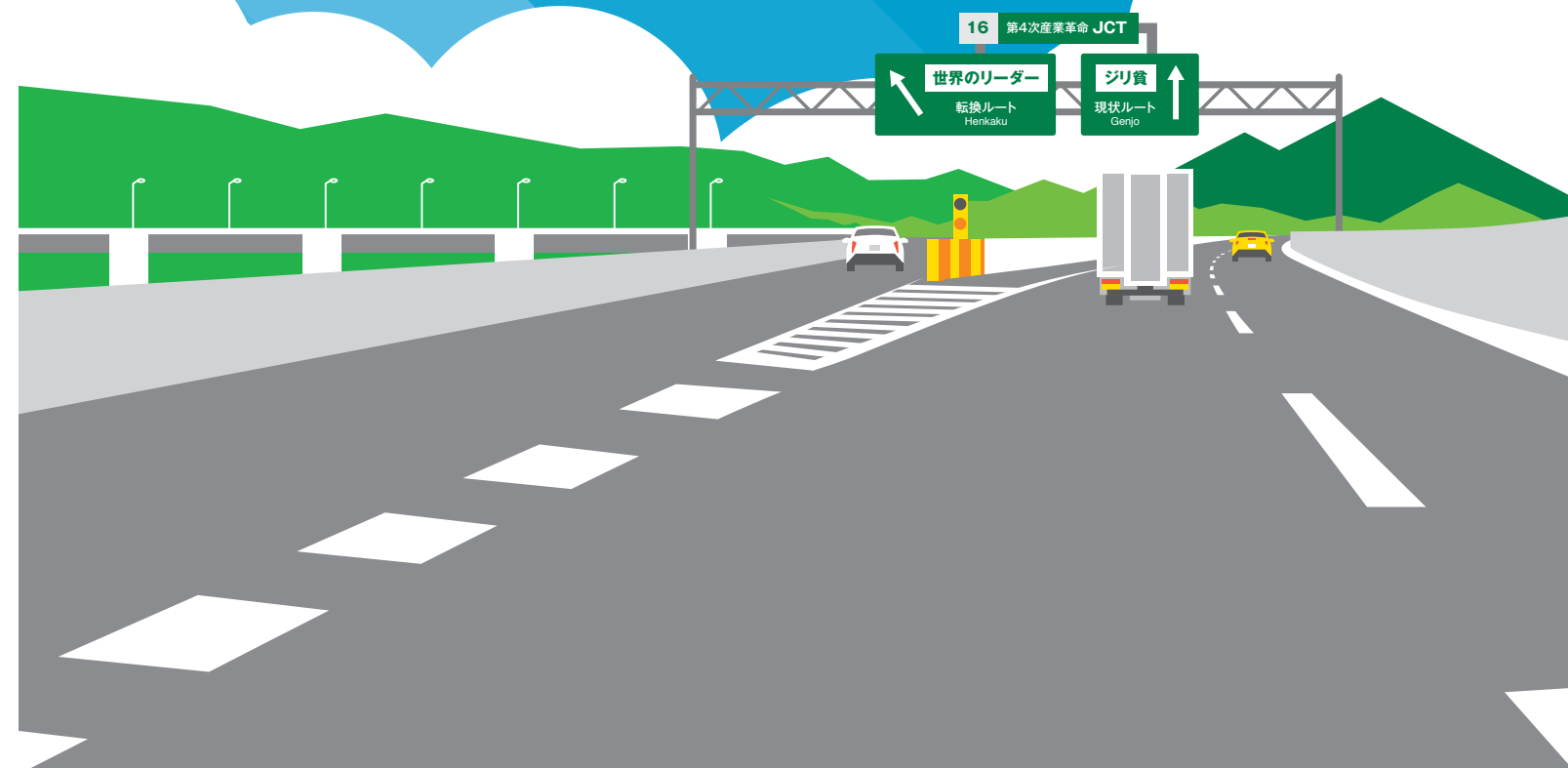
目標を実現するための
必要な全ての要素※の
ロードマップを作り、
短期の具体的改革を実施

※規制改革、事業促進策、民の事業展開等

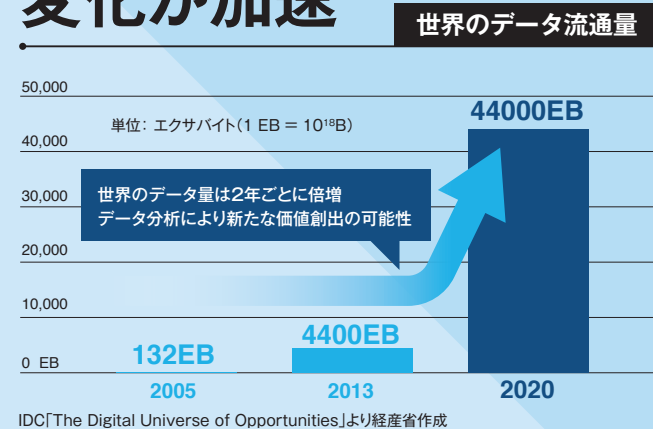
今が日本の、 第4次産業革命の 分かれ道。

新産業構造ビジョン

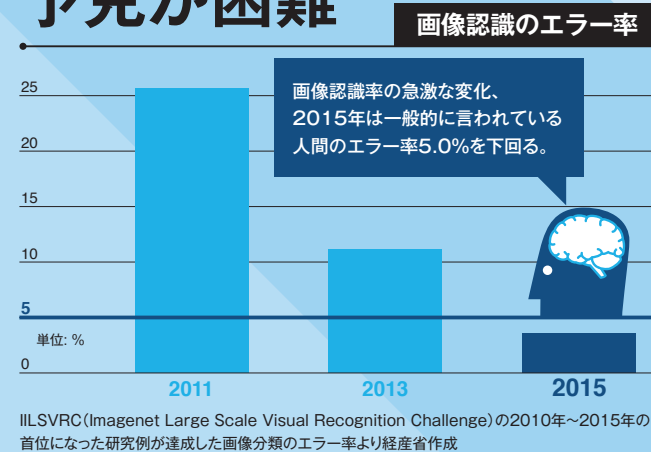
第4次産業革命をリードする日本になるために。



従来にないスピードで 変化が加速



非連続的な技術革新により 予見が困難



労働力人口減少を補う
生産性向上、賃金上昇

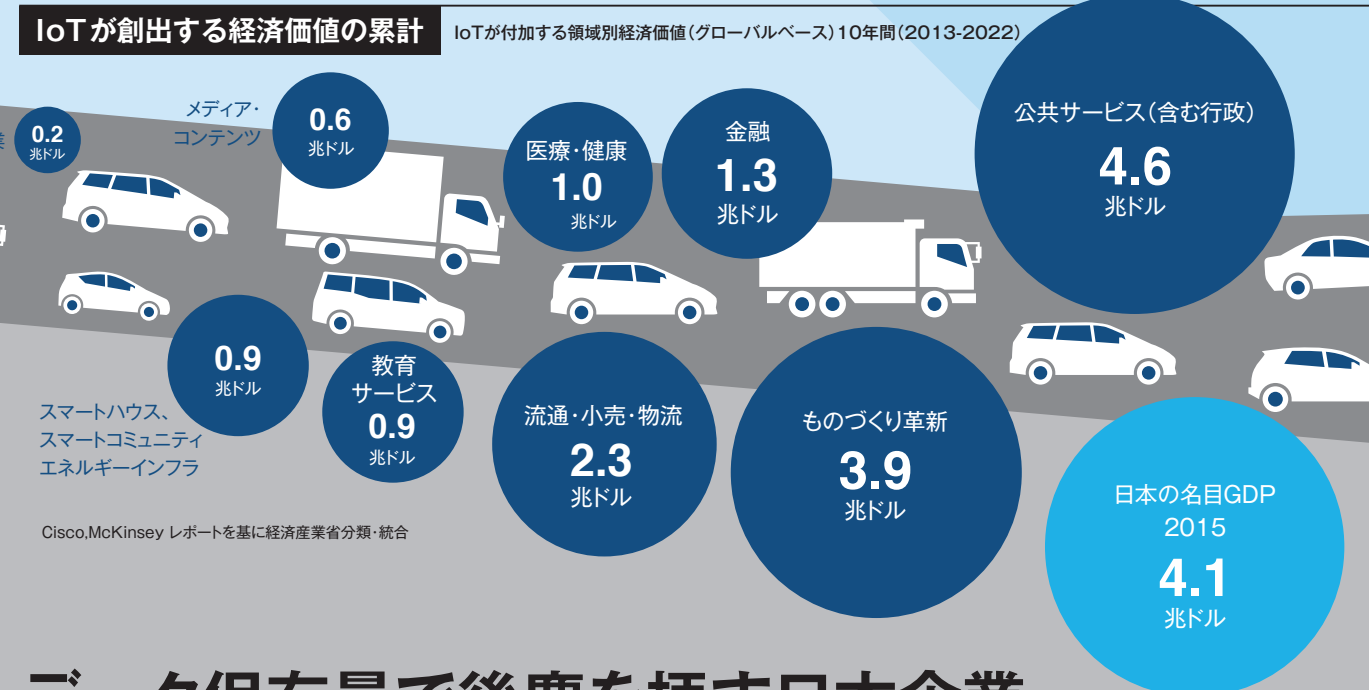
ソフトも含めた破壊的
イノベーションの実現

新たなサービス・製品創出による
社会課題の解決、グローバルな
市場・付加価値の獲得

世界の リーダー

痛みを伴う転換か安定を求めたジリ貧か、日本の未来をいま選択。

IoT がもたらす日本経済約 4 個分の経済価値



産業の再編、
雇用の流動化

転換
ルート

第4次産業革命の
2つのシナリオ

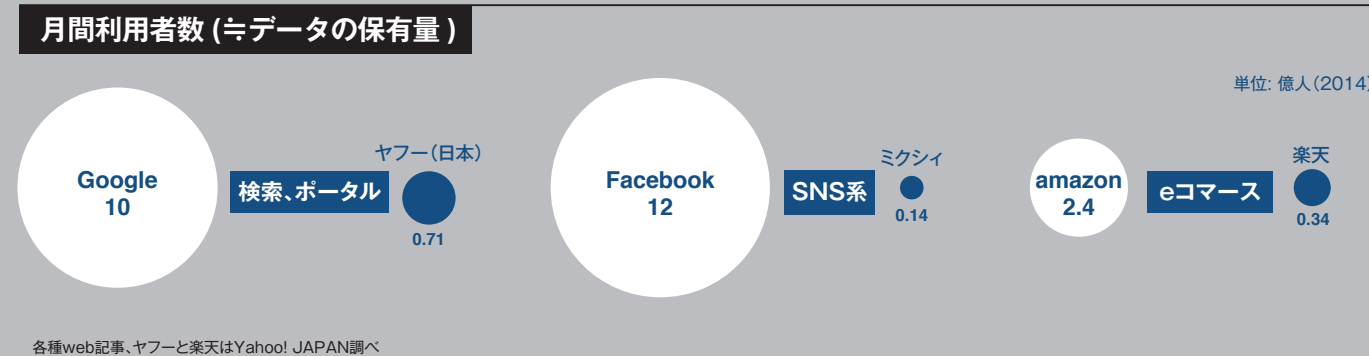
現状ルート

機械化・デジタル化による
雇用機会の喪失、賃金の低下

海外のプラットフォーム上で、
我が国産業が下請け化

ハード中心の漸進的
イノベーションに留まる

データ保有量で後塵を拝す日本企業



新産業構造ビジョンとは

自然や社会のあらゆる活動の情報がデータ化され、AI 等で解析がより深くより容易になることで、新たなサービス・製品の創出による社会課題の解決、市場の拡大が想定される。たとえば、囲碁でトッププロ棋士を破った AlphaGO のように、ビッグデータをディープラーニング (深層学習) 等で解析・学習した革新技術は、破壊的イノベーションを実現する。

その価値創造の源泉たる「バーチャルデータ」の取得については第一幕として海外企業が支配。そして第二幕の「リアルデータ」についても欧米企業が先手を打ちつつある。しかしながら、対応次第では日本企業もまだリーダーの地位を獲得できるチャンスはある。いまこそ自らの強みを活かし、社会課題の解決と経済成長の両立に繋げる転換をするべきではないだろうか。